



さんがい 三階メール

新年号

多摩市議会議員
公明党南多摩総支部長
発行：公明党南多摩総支部
2020年1月号(74号)



謹賀新年

幸多き新春を迎えられたことと
お慶び申し上げます。



2020年1月1日よりスタート

1月1日、
公明党多摩市議団、恒例の新春街頭演説会を行いました。
「地域や現場の声を聞き、きめ細やかな政策を実現し、
人と地域が輝く多摩市を目指します！」
そう決意を述べさせていただきました。本年も頑張ります！



●高齢者の交通手段を考える

高齢ドライバーの事故が相次ぎ、運転免許証の返納の動きが広がる中、返納後の移動手段の確保が課題となっています。特に交通不便地域やアップダウンの多い地域などにおいては高齢者の方への支援が今後、一層高まると予測されます。

私も、山坂の多い地域の交通や団地内の移動、不便地域の解消を訴えてまいりました。多摩市も計画を作成中ですが、現場の声や先進市の取り組みなどを紹介し、市民の皆様がいつまでも暮らしやすい多摩市として、公共交通整備に取り組んでまいります。

●多摩川の治水対策を国会議員に要望。

昨年10月に上陸した「台風第19号」は、東日本を中心に甚大な被害をもたらしました。

多摩市でも多摩川があわや氾濫寸前となり、多くの市民が避難することになりました。多摩川における治水対策の要望書を国会議員に提出。また避難や避難所の在り方に関して多摩市に対し要望しました。

命を守る公明党！防災・減災にしっかりと取り組んでまいります。

(写真：国会議員に提出)



多摩市のために
全力投球！



多摩市議会議員

さんがい
三階 みちお

昭和42年9月4日生 52歳
健康福祉常任委員長・子ども教育常任委員長・総務常任副委員長
・多摩市議会副議長を歴任。
現：公明党南多摩総支部長・健康福祉常任委員長
家族：妻と一男一女 趣味：映画鑑賞 モットー：誠実な対応



公明党が推進し昨年10月からスタートした「幼児教育・保育の無償化」について、11月から全国の公明党議員が現場に足を運び、効果や課題を利用者と事業者から聞き取る実態調査を展開しました。

●利用者の約9割が評価・社会で子育てを支える第一歩

4月からは、低所得世帯の学生を対象に、大学などの高等教育無償化、返済不要の給付型奨学金と授業料減免を拡充する形で実施。東京都では私立高校授業料の実質無償化も始まっています。調査を踏まえ、こうした教育負担の軽減策の完成度をさらに高めていきます。

また、保育の質の向上・処遇改善など国と地方の課題に挑戦してまいります。



健康福祉常任委員長として

●今期は「大人の引きこもり」をテーマに上げました。

行政との意見交換や引きこもり家族会や東京都福生市にある「青少年自立援助センター」を視察。多摩市にも多くの対象者がいると実感しました。

相談窓口や支援の拡充を要望し悩んでいる方への解決に取り組んでまいります。

また、多くの障害者団体、多摩市の民生委員、シルバー人材センター、多摩市老人クラブ連盟と意見交換などを実施。

高齢化が進む中、安心して住み続けられる多摩市を目指してまいります。



第2・3・4回定例会・一般質問

●命を守る防災・減災について

※災害時に自分が取るべき行動の「マイタイムライン」の普及、啓発。

※避難所の拡充と充実。また改修される多摩中央公園が「防災パーク」として機能の充実。

●LINEアプリで行政の情報発信、市民サービスの拡充を要望。

●学校における冷房化、順調に設置されることを期待する。
※エアコンの使用について、生徒だけでなく学校開放でも利用できるよう対応すべき。
また体育館の照明をLED化。

●高齢者の一人暮らし世帯が増加。孤立死や健康も心配である。対策の強化を望む。

●地球温暖化の防止をめざす「パリ協定」が2020年から実施。日本においても、台風19号などによる災害は温暖化に遠因があり日本も被害国。多摩市としても未来に責任を持ち、他人事と捉えず環境問題に率先して取り組むことが必要。

環境先進市として子ども達が誇れる自治体となるよう要望。

さん がい

三階 みちお

市政の事や相談、その他何でも、
ご意見をお聞かせ下さい。

問い合わせ：多摩市豊ヶ丘5-1-7-305

TEL: 090-1408-5743

Eメール: m123gai@s5.dion.ne.jp

